

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
15	長谷川祐司（4）	<p>1. 富士市内を流れる河川の日々の管理状況について</p> <p>昨年、発生いたしました、西日本豪雨によって河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、死者・行方不明者が200人を超える甚大な被害となりました。</p> <p>このことから、全国で新たな警戒レベルの導入がされ、富士市でも本年6月より実施されております。</p> <p>既に、他市におきましては6月以降に警戒レベル5が発令されるなど、本年も大雨、豪雨で河川の氾濫、洪水などの報道が頻繁に放送され、衝撃的な映像も目にいたしております。</p> <p>この警戒レベルは、大雨、豪雨による氾濫・洪水・土砂災害といった迫りくる危険に対し、市民へ避難行動を促すため、市長が発令いたします。</p> <p>その警戒レベルに応じ、各自それぞれが判断し行動に移していただくものと認識しております。</p> <p>富士市では、洪水予報河川・水位周知河川として富士川、潤井川、沼川、小潤井川があります。この4河川とそれ以外の河川の日ごろの管理について質問いたします。</p> <p>(1) 富士市を流れる河川にも富士川などの一級河川、静岡県が管理する河川とそれ以外の富士市として管理する河川に分かれていると聞いております。</p> <p>そこで、警戒レベルを発令する側として、静岡県の管理する河川であっても本来の水量を安全に流せる河川が維持管理されているかを富士市が管理する河川と同様に把握できているかお聞きいたします。</p> <p>(2) 今後、これまで経験したような豪雨が市内を襲った際、氾濫のおそれのある河川があるのかお聞きいたします。</p> <p>2. 富士市職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練の実施状況について</p> <p>先日、9月1日は防災の日と位置づけ、富士市では昭和54年からこの日に各自主防災組織単位での総合防災訓練が実施されております。私も地元の訓練に参加させていただきました。本年は日曜日ということもあり、例年に比べ参加者が多かったように感じています。</p> <p>以前より他県に比べ静岡県の各市町では、予測される東海地震により充実した訓練が実施されているとのこと。本年も各自主防災組織ごと訓練内容を変えるなどしていろんな想定を踏まえて実施していただいております。これも、いつどこで災害が発生するかわからないということから、富士市が9月1日を防災の日として曜日にかかわらず実施している背景も、このことからだと思います。</p> <p>9月1日の防災の日が平日の際には、多くの市民が各地域での総合防災訓練に参加できませんが、各会社や職場単位で実施している防災避難訓練へ参加されています。</p> <p>いろんな想定での訓練を実際に行うことが大切と感じております。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
15	長谷川祐司（4）	<p>そこでお伺いたします。</p> <p>(1) 有事の際に備え、市の職員の防災避難訓練及び市民が来庁しているときの避難誘導訓練も重要かと思いますが、過去にこれらの訓練を実施されているのでしょうか。</p> <p>(2) 市の職員及び市民の大切な命を守るために、職員1人1人に各自のとるべき行動は周知されているかお聞きいたします。</p>	市長 及び 担当部長